

栄東げんきっ子

《中学生編》

第172号 2024.7.1 発行

<編集発行>

栄東地区まちづくり未来会議

<問合せ先>

栄東まちづくりセンター

電話 711-2203

なぜ、今、盆踊りなのか？

栄東地区まちづくり未来会議（以下「未来会議」という。）では、昨年8月に、30年ぶりにひのまる公園での盆踊りを復活しました。では、なぜ今、盆踊りなのでしょう。今号では、現代において盆踊りがコミュニティの中で果たす役割を考えてみます。

仏教に由来、地域交流に発展した盆踊り

盆踊りは、誰もが気軽に参加できるイベントです。その由来は諸説ありますが、ひとつは、仏教の「念仏踊り」とされています。これがお盆と結びつき、踊ってご先祖様の霊を送り出す意味合いを持ち、時の経過とともに、地域の交流という役割も強くなりました。

明治以降、一時衰退しますが、大正時代から徐々に見直されるようになり、昭和20年から30年代には、戦後解体された町内会（自治会）が復活したことで、地域による手づくり盆踊りが各地で立ち上げられていきました。

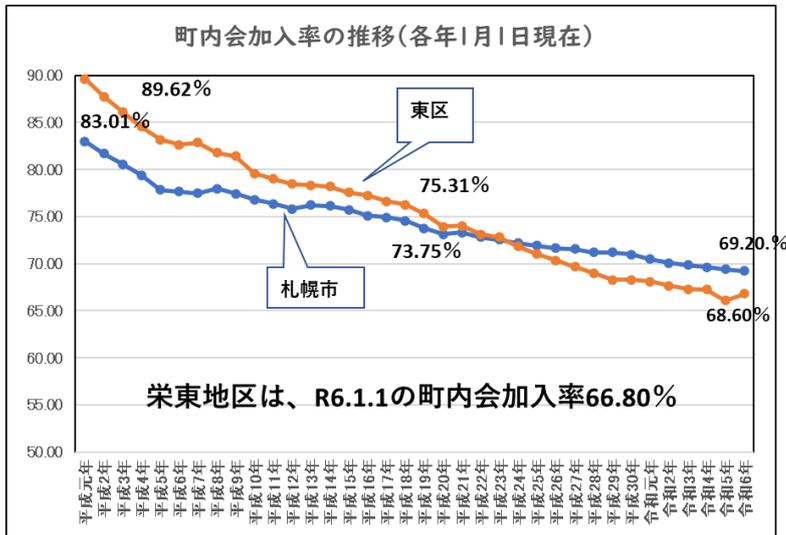
昭和30年代は、高度経済成長期が到来し、地方から都市部への人口流入が増え、都市に集まった異なるルーツを持つ人々が増えていきました。そうした地域では、盆おどりがふるさとへの望郷の念を解消し、他者とつながる場として、また、新しい「ふるさと」として重要な役割を果たしていきました。



町内会の弱体化と盆踊りの衰退

昭和60年代から平成の時代に入ると、高齢化の影響もあり、町内会の活力が失われ、加入率が低下し、担い手不足が顕著になりました。盆踊りは、運営する人材不足により継続が難しくなる町内会が増えていきました。「町内会加入率の低下」や「準備が大変」、「役員が高齢化した」などの理由は、札幌市、東区、栄東地区でも例外ではありません。

年々、盆踊りが減少し、踊る機会がないこともあり、踊れる人も減少しました。さらに大きな影響を与えたのが、新型コロナ感染の広がりです。大勢の人が集まること自体が感染につながるとして、盆踊り衰退に拍車をかけたのです。



未来会議では、令和2年5月に向こう10年間のまちづくりの指針として「栄東地区まちづくりビジョン」を策定しています。

策定時のワークショップでは、夏まつりや盆踊りの廃止・減少を憂う声が多く出されました。

このため、ビジョンの3大目標の一つである「子どもが健やかに成長できるまち」の実現に向けて、盆踊りで子どもの思い出をつくり、ふるさとを感じてもらおうと昨年8月に30年ぶりにひのまる公園で「盆踊り」の復活にいたりました。

再び様々な地域の縁を呼び起こそう

昨年のひのまる公園盆踊りは、8月5日・6日とも雨模様の中、3,000人以上のみなさんが来場されました。

会場の運営には、中学生延べ51名をはじめ、町内会・地域団体、そして地区外のボランティアなど延べ257名、合計延べ308名の方々に従事していただきました。また、68団体・個人のみなさまには温かい協賛をいただきました。30年ぶりの盆踊り復活には、こうした多種多様なサポートがあってこそ実現できたものと言えましょう。

ひとつの行事にこれだけの方々の力を結集して成功した経験は、今後にどのような影響があるのでしょうか。

中学生のみなさんもクラブ活動なので多くのメンバーが協力しながら、試合に勝つ、あるいは一つの学習発表会を成功させるなどの経験があると思います。そうした一つひとつの経験を積み重ねることで、仲間同士の絆（きずな）が生まれ、将来に起こりうる困難にも協働し、立ち向かっていける力や自信を得ることができるのではないのでしょうか。

それは、地域にとっても同じ事です。盆踊りは、子どもたちのために、共通の「ふるさと」をつくろうという目標で地域が協働で準備し、運営したお祭りです。地域のみなさんが、同じ目標に向かって連携し、開催が難しくなった盆踊りを実現した経験は、今後、どのような課題にも地域が立ち向かっていける基礎になるのではないのでしょうか。盆踊りを通じて、地域の縁、絆を紡ぎなおすこと、これこそが大きな成果と言えそうです。



▲中学生ボランティアが大活躍！。昨年の盆踊り

ひのまる公園盆踊り運営に参加してみませんか？

栄東地区まちづくり未来会議では、ひのまる公園（東区北41条東10丁目）で盆踊りを開催します。この運営ボランティアを次のとおり募集しています。栄東地区の中学生に皆さん（栄中、栄町中、栄南中）、地域の方々と一緒に運営してみませんか。

《ひのまる公園盆踊り》

- ◆日時：令和6年8月3日(土)、8月4日(日)
いずれも概ね午後2時30分～午後6時00分（ボランティアに従事する時間）
- ◆場所：ひのまる公園(東区北41条東10丁目)
- ◆お手伝いいただく作業：子ども盆踊りの会場整理、見守り、お土産の配布など
- ◆その他：会場までの往復とボランティア中の事故は地域活動保険の対象に。
なお、参加について保護者の許可を得ることが必要です。QUOカード(千円)進呈
- ◆募集人員：各日10名程度

★申し込み方法

次のメールで、参加したいイベント（盆踊りは参加できる開催日）、氏名、学校・学年、年齢、住所、電話番号を明記して7月16日(火)までにお申し込みください。

★お問い合わせ先

栄東まちづくりセンター (Tel.711-2203)

メール：ap@sakaehigashi.info

